

さばくのさかな





あるところの、すなのいっぱいある“さばく”というところ
に いっぴきのおさかながうまれました。
ふつう、おさかなは、みずのなかでしょ？

でも、うまれてしまったものはしょうがない。
うまれてしまったのだから。



うまれたさかなは、ひれですなのうえにたっていました。

すなはジャリジャリしていて、ちょっといたいです。

まわりをみると、すなでいっぱいです。

「わあ すなでいっぱいだ」とさかなはおもいました。



ひれであるくのはたいへんです。よいしょ、よいしょ、
とあるくのですが、なかなかまえにすすみません。
ああ、とてもあるくのはたいへんだ。
さかなは、とてもつかれてたおれこんでしまいました
た。



「ああつかれた」とひとやすみしていると、
いっぴきのねこがあるいてきました。



「あなたはだれ？」とさかなは、ききました。
すると「わたしはねこだ」とねこはこたえました。

「ねこさん、ねこさん、どうしてそんなにはやくあるけるの？」そりゃ、あしがあるからさ とねこはこたえました。



みるとあしが4ほんあって、ながいのです。ふりかえってじぶんをみると、あしはみじかく、にほんしかありません。





それでも、いっしょけんめい、みじかいあしで、すなのうえをあるこうとするのですが ぜんぜんまえにすすみません

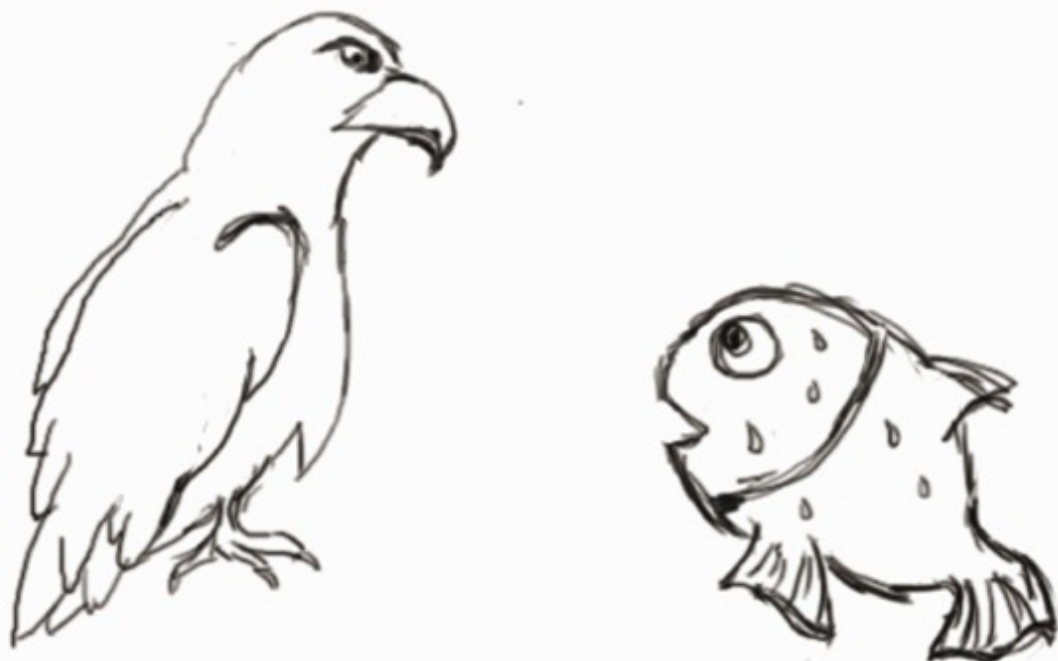
こまってしまうと、うえをながめていると
なにかがとんでいます。

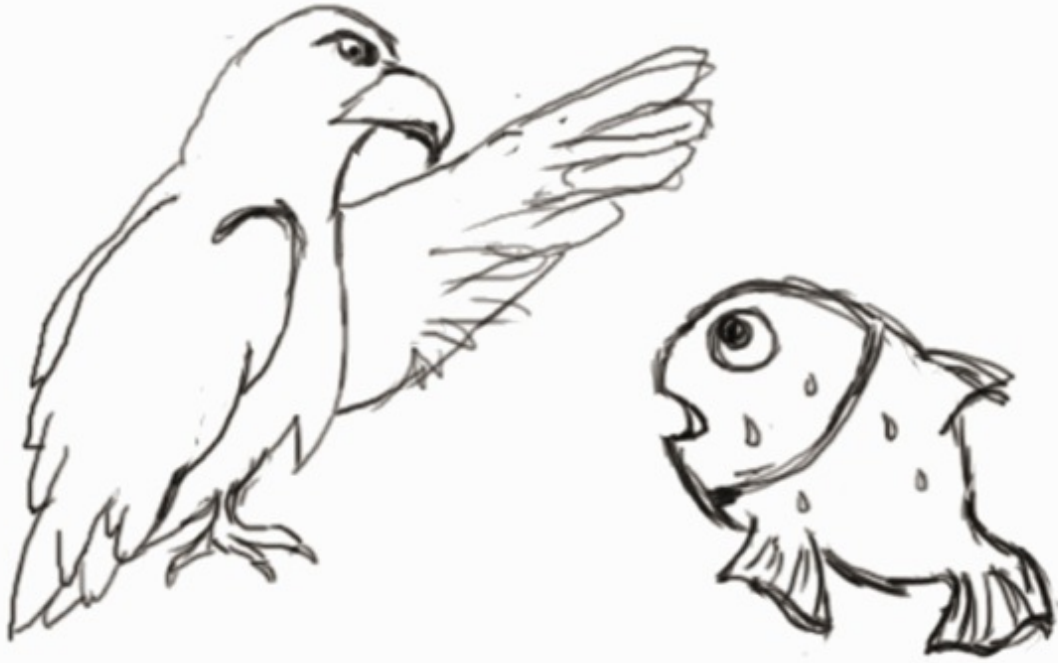


さかなは、ききました。

「あなたはだれ？」

「わたしは、とりだ」とこたえておりてきました





「とりさん、とりさん、どうしてとべるの？」

「それは、はねがあるからさ」と

おおきなはねをひろげていました。



さかなはじぶんのはねをいっしょうけんめい

はばたかせましたがとべません

さかなは、じぶんのすがたをみておもいました。

ねこさんにくらべて

あしがみじかくて あるけない

とりさんにくらべて

はねはちいさくて とべない



さかなはなきたくなりました。

なみだをポロポロながして、さかながないっていると…



いっぴきの くろいとり がおりてきました。
さかなは「あなたはだれ？」とききました。
「わたしはカラスだ」とこたえました。
カラスはさかなに
「なぜ ないているのか？」とききました。
すると、さかなは、
じぶんは ねこさんにくらべて あしがみじかく
とりさんにくらべて はねがちいさい といいました。



?



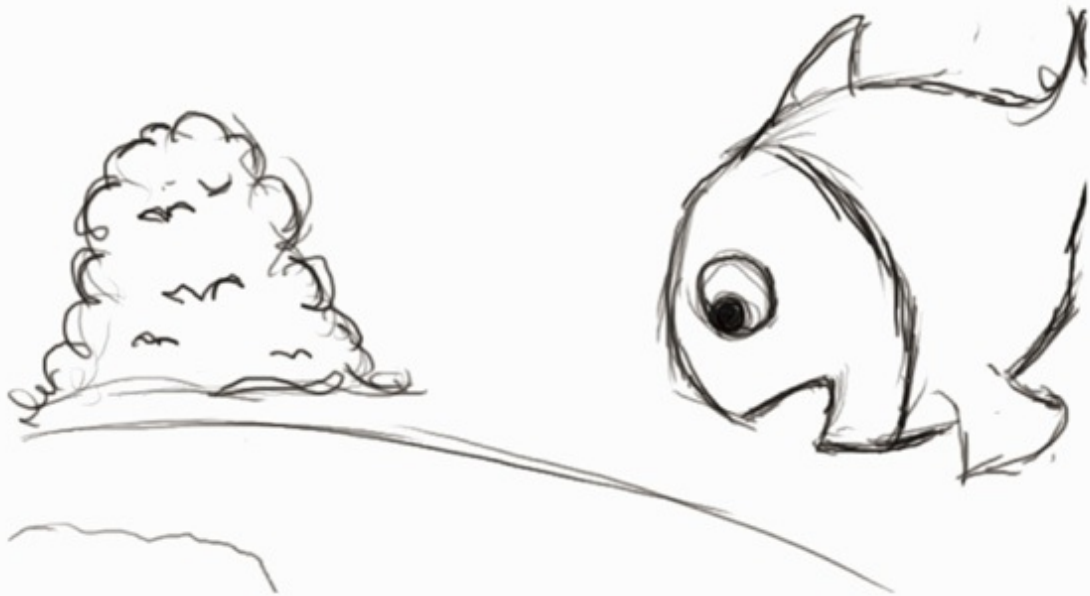
カラスは、こういいました
「では おまえはだれだ？」
さかなは「わからない」と なきながらこたえました。



カラスは「おまえは“さかな”だ」というと
さかなのおをつかんでとびました。
そらをとぶと、したのものがちいさくみえます
「わあ～すごい」さかなは、おどろきました

しばらくとぶと、あおくて、とても おおきなものがみ
えます。

「あれはなに？」とさかなが きくと
カラスは「あれは うみだ」とこたえました。



そうカラスはいうと、うみのなかに さかなを おとし
ました

ジャポーン!!



うみのなかで、さかなは およげました。

さかなは おもいました。

ぼくは、ねこさんのように あるけないし

とりさんのように とべなかったけれど

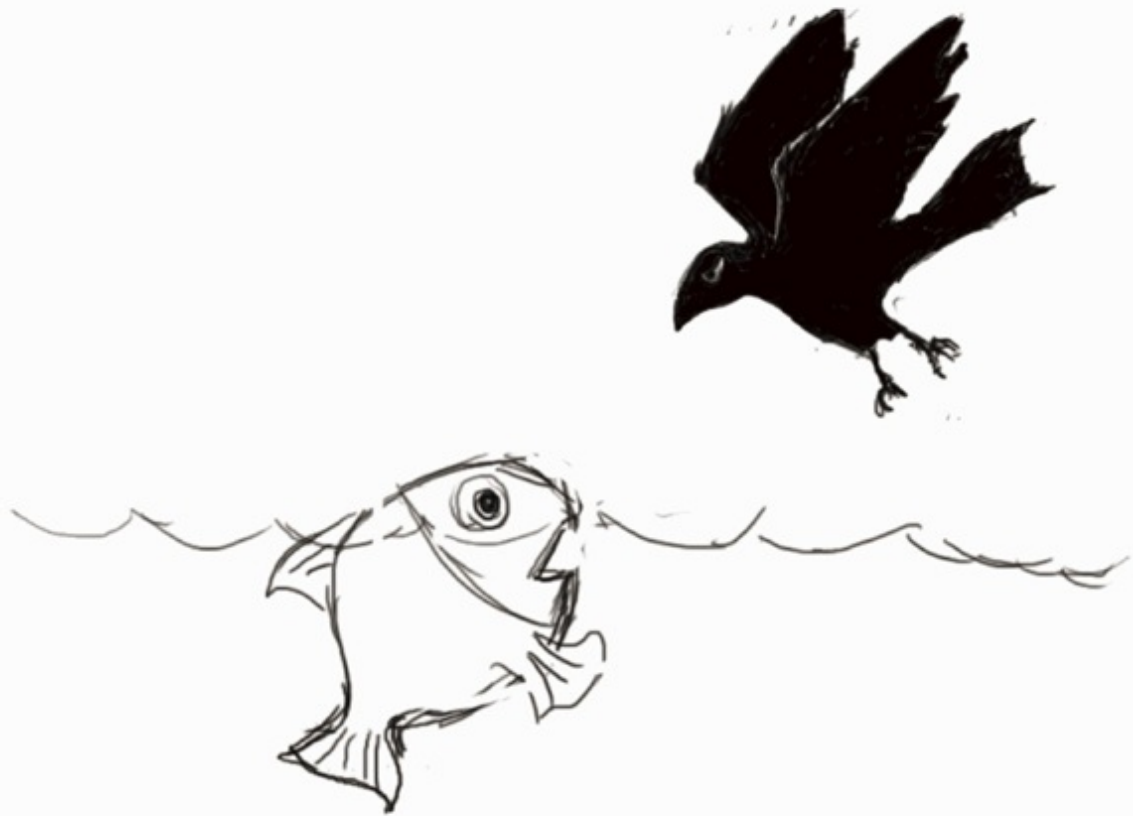
さかなとして およげるんだ



そうカラスにいうと

カラスは「そのとおり、おまえは とりでも ねこでも
ない さかな なのだ」

そうカラスは こたえると どこからともなくとびさって
いきました。



「おしえてくれて ありがとう カラスさん」
そういと、さかなは うみのなかへおよいでいきまし
た。



おしまい